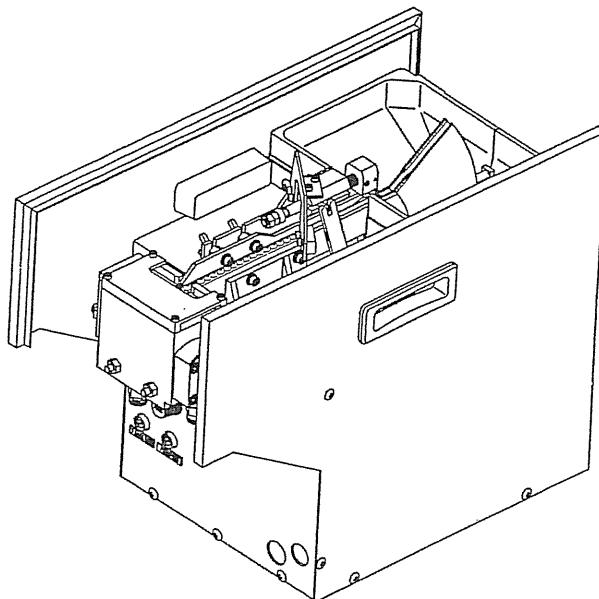


H I O S
オートフィード・ドライバー
レシプロシーズ
直進式フィーダー FF503H
取扱説明書



発売元 三菱商事株式会社

製造元 株式会社 ハイオス

本 社 〒270-22230 千葉県松戸市秋山 111-6

TEL 047-392-2000(代)

大阪営業所 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル18F
TEL 06-6533-0903

名古屋営業所 〒461-0001 名古屋中区丸の内1-17-19

(キリックス丸の内ビル9F)
TEL (052)219-5566

このたびはハイオスオートフィードドライバー・レシプロシリーズをお求めいただきまことにありがとうございました。

- **オートフィードドライバーとは**

ねじ1本1本をドライバー先端部まで圧送により運ばれるまでの全てを自動的に行なうことができるシステムです。

- **レシプロの名称の由来**

ドライバー先端部のマウスピースを含むシリンダー状のヘッド部分が、ねじ締作業1回終了ごとに昇降して、次のねじの繰出しを行なうのでその部分の往復現象を捉えて、レシプロと命名いたしました。

■安全にご使用いただくために

(ご使用上的一般的な注意事項について述べております。)

- **指定用途以外には絶対に使用しないで下さい。**

本取扱説明書に指定された用途以外には使用しないで下さい。

- **正しい取扱いで安全作業**

本取扱説明書に従い正しい取扱いで安全に作業を行なって下さい。

- **油や湿気は避けて下さい。**

湿った場所、ぬれた場所、機械内部に水や油の入りやすい場所などでのご使用は避けて下さい。

- **使用するエアーに水分や油分がないように！**

水分や油分が含まれている場合は、完全にとり除いて下さい。

- **アースを確認して下さい。**

感電防止のため必ずアースをお取り下さい。

- **空圧装置は指定気圧内でご使用下さい。**

空圧は指定の4.5~5.0kg/cm²で使用して下さい。また、レギュレーターは当社指定の製品をご使用下さい。

- **ドライバー先端部を人に向けたり、顔面に近づけたりしないで！**

空圧が高すぎた場合、圧送されたねじがマウスピース先端から飛び出す恐れがありますので、先端部を人に向けたり、顔面に近づけたりしないで下さい。

- **製品の寿命を長くするお手入れ！**

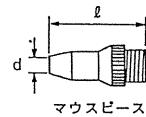
レシプロ内部にはゴミ、ホコリが付着しますので常に製品の手入れには十分心掛けて清潔に保って下さい。

故障と決める前に確認を！

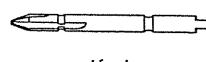
下記の表に従い調べていただき、なお異常のあるときは、
お求めのレシプロ販売店又は弊社 レシプロ課までにご連絡下さい。

症 状	原 因	対 处
ねじが送られてこない	シューターカバーのゆるみ、あるいはねじ頭の高さ調整不良により、ねじ分離ユニットにねじが流れてこない。	シューターカバーを再点検する。
	圧送ホースの挿入が浅いために起る、圧送ホースとシリンダー部のジョイント部でのねじつまり。	つまったねじをとりのぞきホースをパイプの奥まで入れる。 圧送ホース取り付けを参照
	ねじ圧送が弱い。	ねじ圧送バルブを少しづつ開いて調整する。 空圧調整を参照
	ねじ圧送時間が短かい。	作動時間の調整でTSIのボリュームを微調整する。
ねじをキャッチしない	キャッチャーA、Bの変形又はスプリングのへたり。	不良部品の交換を行なう。 キャッチャー&スプリングの交換を参照
	マウスピースの変形。	不良部品の交換を行なう。 マウスピースの交換参照
	転倒防止爪の変形又は、スプリングのへたり。	不良部品の交換を行なう。 転倒防止爪&スプリングの交換を参照
	ねじ圧送が強すぎる。	ねじ圧送バルブを少しづつ絞る。 空圧調整を参照
ねじを吸着しない	エアーフィルターの汚れ(目づまり)。	新しいエアーフィルターを交換する。 エアーフィルターの交換参照
	内部真空エジェクターの不良。	エアーフィルターの交換参照。 エジェクターの交換。 レシプロ取扱店、またはFA課までにご連絡下さい。
	シリンダーASSY内のゴミ、ホコリなどの付着による機能低下。	シリンダーASSYのクリーニングをする。 シリンダーASSYのクリーニングを参照
ドライバーシリンダー部の動きが悪い	シリンダー内部の汚れ、又は油切れ。	シリンダーASSYのクリーニングをする。 シリンダーASSYのクリーニングを参照 注油等を入念に行なう。
ドライバーシリンダーが上下に動かない	ねじ圧送時間の不足による、ドライバー内部のねじの噛み込み、あるいは圧送バルブの絞り過ぎ。	エアーバルブを締め、シリンダーを手で上下させて、つまったねじを取り除く又は、ねじ圧送バルブを少しづつ開く。 空圧調整を参照

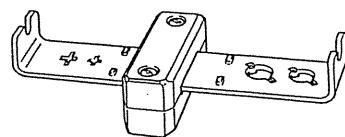
標準付属品



マウスピース



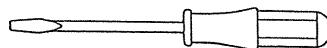
ビット



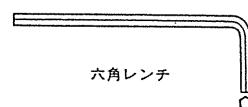
抜き差板



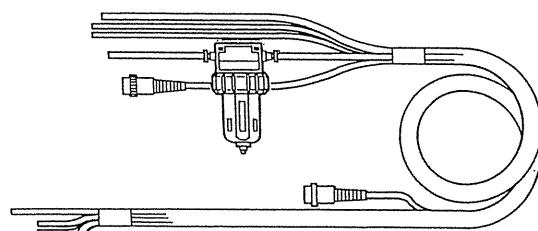
Oリング



調整ドライバー

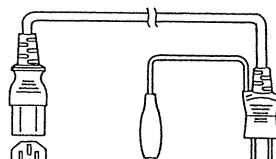


六角レンチ

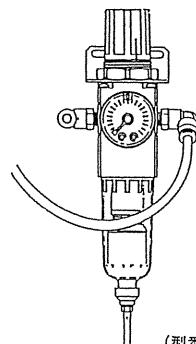


ホース & ドライバーコード

ミストセパレーター・レギュレーター



電源コード



(型番: RP56)

■付属品内容

レシプロ機種						RC-200N		RC-260N		RC-300N		RC-400N							
付属品						ナベ	バインド	ナベ	バインド	ナベ	バインド	ナベ	バインド						
マウスピース 各1ヶ	d					3.5	4.3	4.5	5.5	5.5	6.3	7.0	8.3						
	l	15.5						17				25							
ビット 各1ヶ	先端No.					⊕ #1		⊕ #2											
抜き差板								1ヶ											
六角レンチ								対辺 1.5mm 1ヶ											
圧送ホース用Oり 各2ヶ(内径×外径)						6×9	8×11	8×11	9×12	9×12	10×13	11×15	12×16						
調整ドライバー		1ヶ																	
電源コード		1本																	
ホース&ドライバーコード 各1式 (内径×外径)						4×6	4.7×8	4.7×8	5.7×9	5.7×9	6.6×10	7.2×11	8.5×12						
ミストセパレーター レギュレーター		1台																	

※(内径×外径)の寸法はねじ圧送ホースを指します。

締付けトルクの設定には、電動ドライバーのトルク設定値の測定ができるハイオス計測器HPシリーズのご利用をお薦めします。計測器のご使用により正確なトルクチェックが容易に迅速に行えます。

注意：ハイオス計測器のご使用につき、ファイダプターを使いトルク設定をする時に、クラッチが切れてドライバーが停止しても、ドライバーのスイッチレバーは離さないで、トルクチェックを行なって下さい。

その他の場合は、出力トルクの目安表を参考に、おおよその目盛の位置にトルク調整ナットを設定して、ねじ締めのテストを繰返しながら、適宜のトルク値を見つけて下さい。

トルク設定ができたら、シリンダーASSYをドライバー本体に接続します。

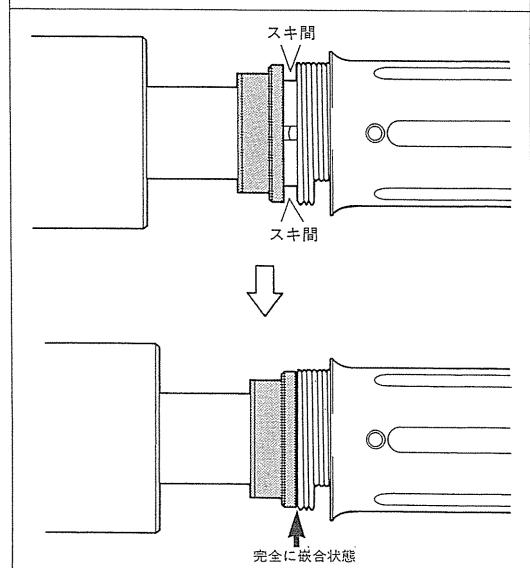
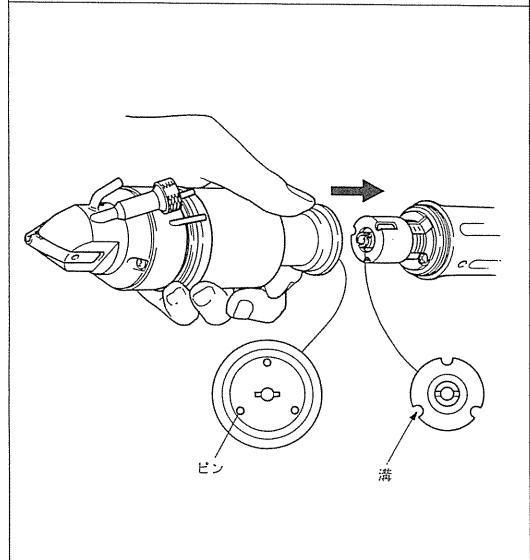
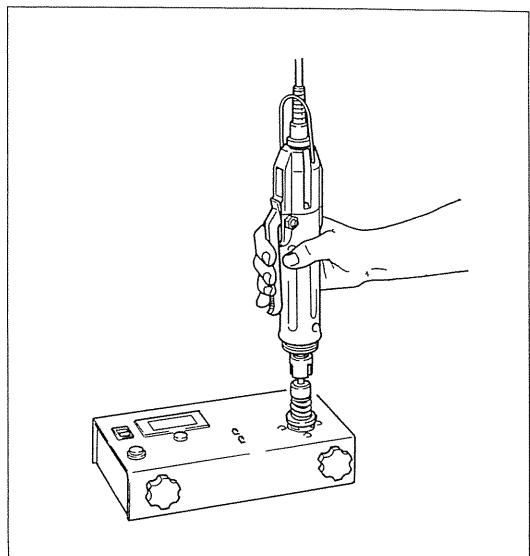
接続する時は、シリンダーASSYの筒を指で持ち、シリンダーASSY内側3本のピンとトルク調整ナットの3ヶ所の溝とを合せて真直ぐ挿入します。

注意：挿入する時シリンダーASSY又は、ドライバーを左右に回さないで下さい。定めたトルク調整ナットの位置が動いてしまいます。

挿入して止った状態はスキ間があいてますので、ドライバーの正／逆スイッチを正(FOR)に入れ、ドライバーを回転させて、嵌合させて下さい。

※ドライバーの回転によりジョイントシャフト凹部とピットホルダー凸部が完全に嵌合されます。スキ間がないのを十分確認して下さい。

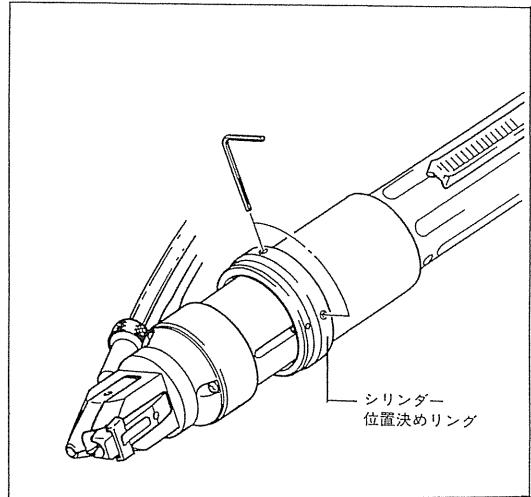
シリンダーケースを回して、締付けて下さい。



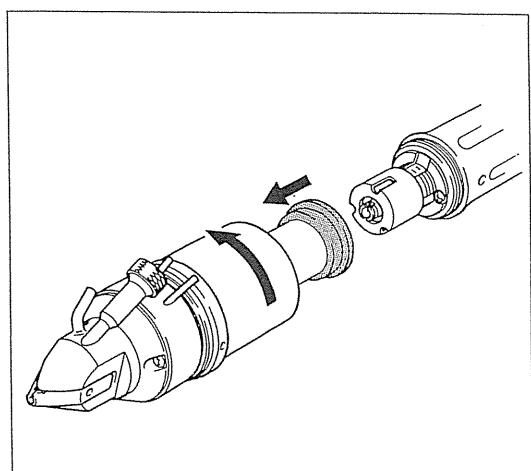
ドライバーのトルク調整を行ないます。

シリンダー位置決めリングをゆるめて下さい。

六角レンチを使って、ホルセットスクリューをゆるめて下さい。



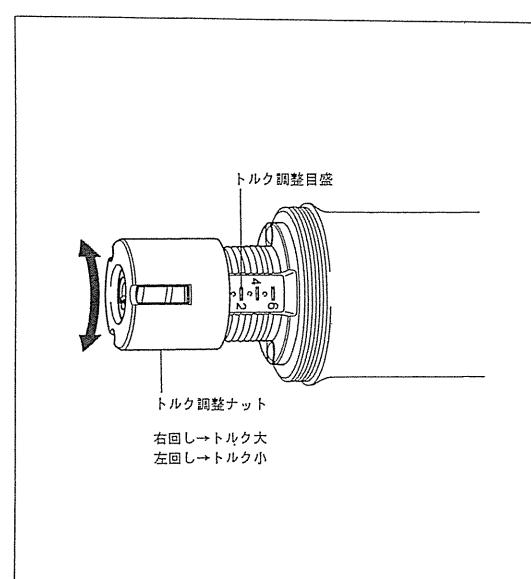
シリンダーパーを伸ばしてから、シリンダーASSYと本体とを離します。



トルク調整ナットを回して締付けトルクの設定をします。

トルク調整ナットを締め上げる⇒トルクは「高」

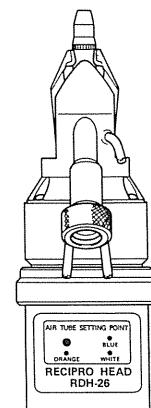
〃 ゆるめる⇒トルクは「低」



ホース＆ドライバーコードの各ホースをドライバーと空圧装置に取り付けて下さい。

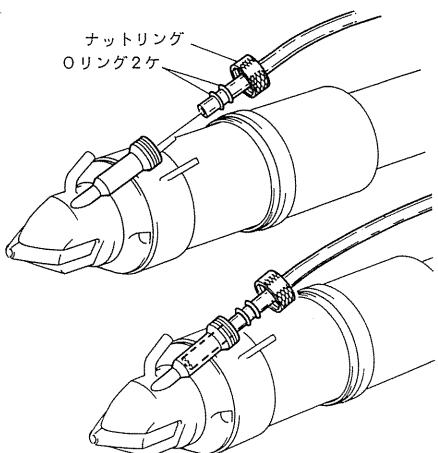
レシプロヘッドの銘柄と空圧装置の表面に、取り付けホースのカラーと、差し込み位置が表示してあります。

ホースを取り付けの際は、取り付けパイプに深く差し込んで下さい。



圧送ホースの取り付けは、エアーパイプのナットリングを回して外し、圧送ホースにナットリング、Oリング2ヶを順に通して下さい。圧送ホースはパイプ内のつき止るところまで深く挿入して、ナットリングで締めつけます。

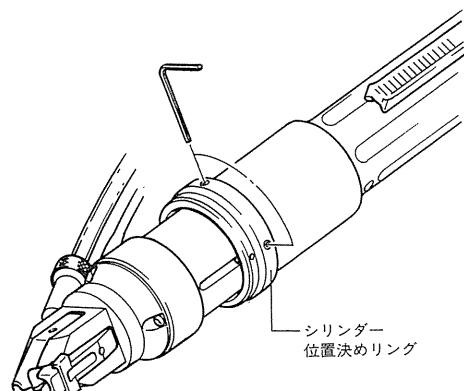
注意：ホースはエアーパイプに深く入っていないと、ねじづまりなどの原因になりますので、ご注意下さい。



シリンダー位置決めリングを回して、シリンダーハーネスを固定します。

シリンダーを上に押し上げてから、シリンダーアセンブリを作業のじゃまにならない方向に回して、ホルセットスクリューを六角レンチで締めて固定して下さい。

注意：ホルセットスクリューをあまり強く締め過ぎるとケースが変形して、シリンダーの上下運動を阻害しますので、適度の締め付けをお願いします。



ドライバーのシリンダーを上に押し上げてから、エアーツマミをOPEN側に入れて下さい。

注意：エアを送入すると圧力でドライバーシリンダーが上ります。この時シリンダ一部を保持していると、指や手をはさむことがありますので、エアの送入時はシリンダ一部を絶対に持たないで下さい。

ドライバーの正／逆スイッチが正(FOR)になっているのを確認して、ドライバーのスイッチレバーを押し、作動させてください。

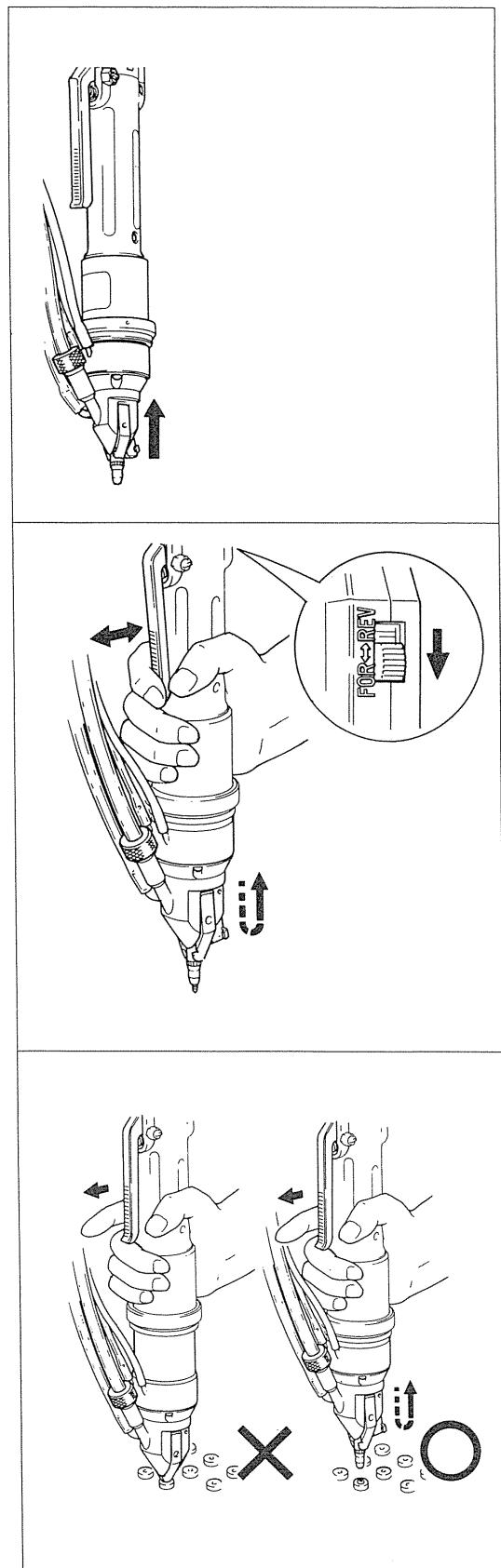
最初はねじが送られませんが、2回目の操作からねじは圧送されマスピースに吸着されます。

注意：ドライバー先端部を人に向けたり、顔面に近づけたりしないで下さい。

ねじ穴にねじをあてがいドライバーを作動させてください。設定したトルク値でねじが締まるときクラッチが働き瞬時に回転が止ります。

回転が止まってねじ締めが完了してから、ドライバーのスイッチレバーを押したまま部材から離し、それからスイッチレバーを離してください。同時に次のねじが送られてきます。

注意：ねじ締めが完了した時すぐにスイッチレバーは離さないで下さい。離脱以前レバーを離すとシリンダーは前進（上下運動）して締めつけ部材に当ったり、相手部材を傷つけたりして、マウスピースを変形、破損させる原因になります。



■ビットの交換

ビットを交換する時は、本システムの電源スイッチおよびエーパルブ等をOFFにしてから行ってください。

シリンダーASSYを押し上げます。

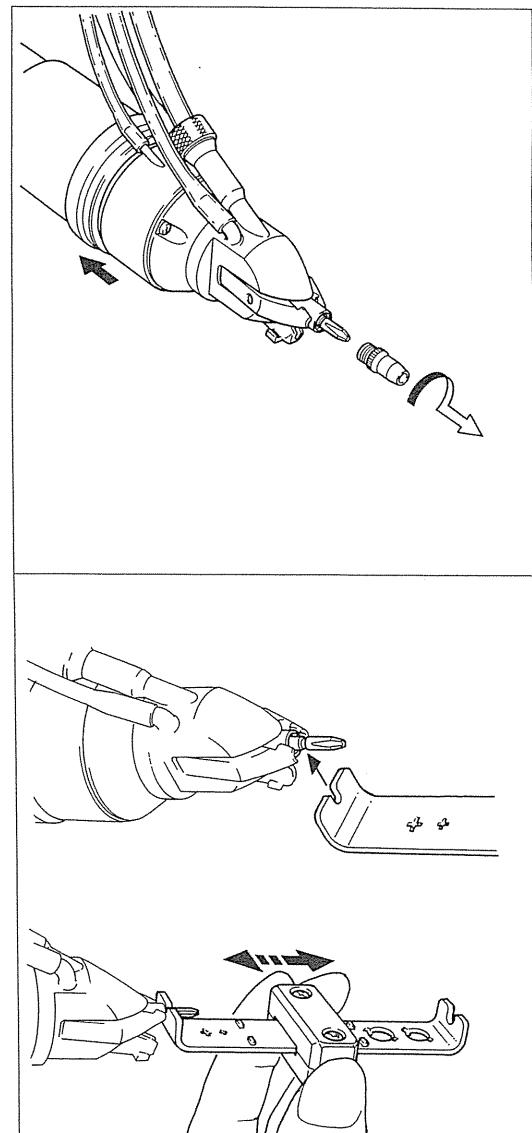
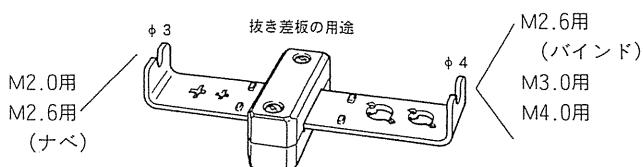
マウスピースを右に回して取り外します。

※マウスピースは逆ねじを使用しています。

ビットを抜き取ります。

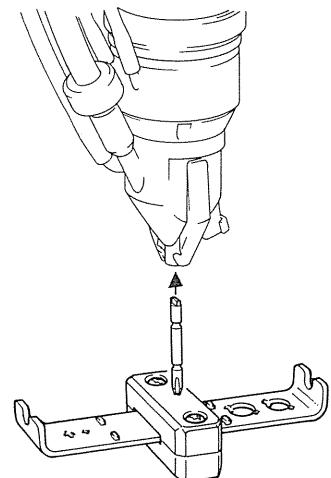
ビット抜き差板(付属品)の端を、ビット上の溝にひっかけて抜き取ります。容易に抜けない時は、抜き差板の中央の重りを左右に振ると引き抜けます。

注意：抜き差板をビットの溝にひっかける時、キャッチャー及び転倒防止爪を無理に広げますと、中にセットしてあるスプリングを押しつぶす場合がありますので、ご注意下さい。



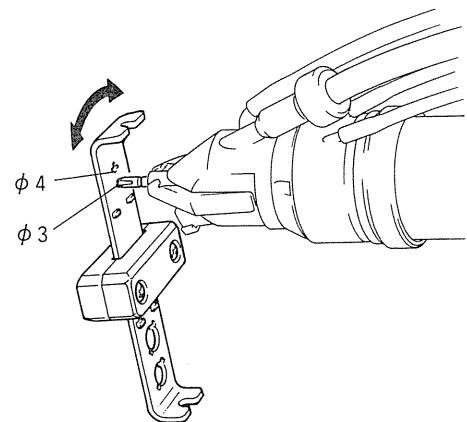
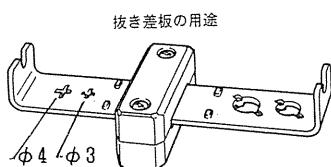
交換のビットを挿入します。

ビットの挿入は固いので、ビットの先端を抜き差板に当て、押し込んで下さい。



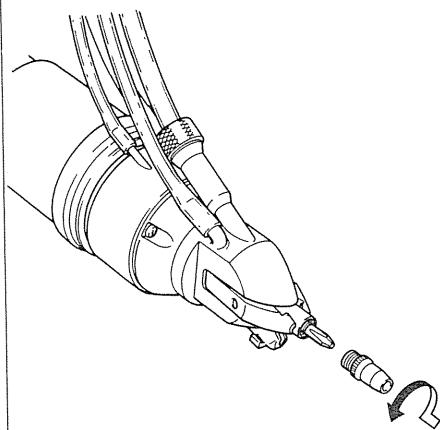
抜き差板の十字抜きの部分にビット先端を合せ、抜き差板を押しながら左右に回して下さい。

注意：ビットを交換した時は、必ず十字抜きで左右に回して下さい。これはジョイントシャフト凹部とビットホルダー凸部を嵌合させるための作業です。不十分ですと、ビットは空回りしたり、ねじのチャッキングができません。



外したマウスピースを取り付けます。

※マウスピースは逆ねじを使用しています。



■キャッチャーについて

破損、摩耗、変形した時はキャッチャーを交換して下さい。

キャッチャーの左右の表面には、装着位置を示すA、Bの記号がねじ径と共に刻印されています。

同様にヘッドASSY面にもキャッチャーの装着位置を示すA Bが刻印されています。交換する時はヘッドASSY面の記号にキャッチャーの記号を合せて装着して下さい。キャッチャーは二個(A,B)で1組です。

- ・キャッチャーの種類／

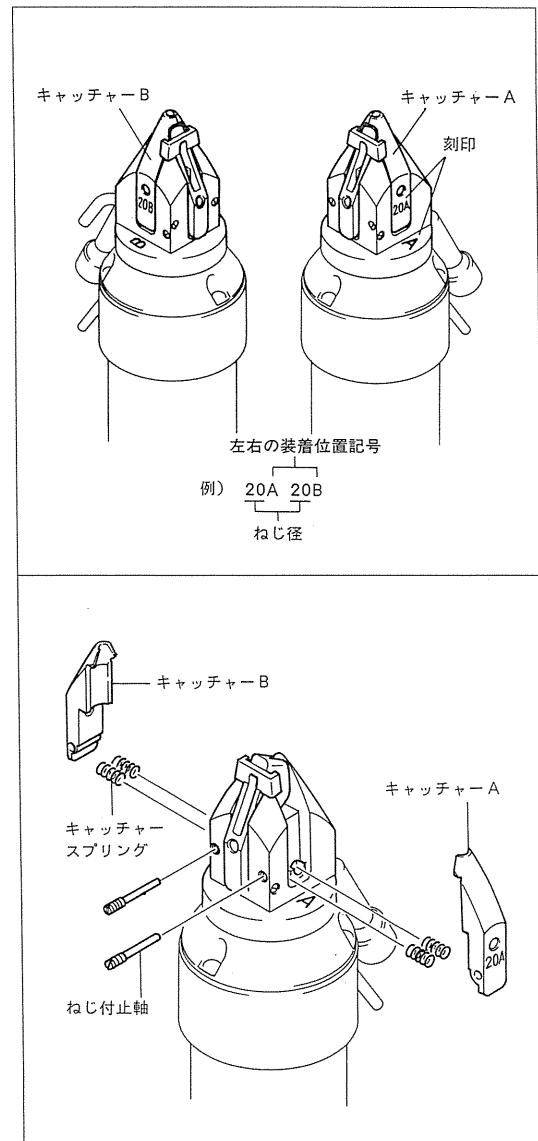
※M2.0用、M2.6用、M3.0用、M4.0用

キャッチャー&スプリングの交換

シリンダーを伸ばして下さい。

左右のキャッチャーを指で押さえて、ねじ付止軸2本をゆるめて、外して下さい。

一個のキャッチャーにはスプリング2ヶがセットされています。



次に新しいキャッチャーを装着します。

キャッチャーは左右とも同じ形状をしているので、ヘッドASSY面の刻印記号と同じキャッチャーの記号を合せて装着して下さい。

外したねじ付止軸2本を締めて下さい。

■転倒防止爪について

摩耗、破損、変形した時は交換して下さい。

転倒防止爪の表面には、ねじ径とねじ頭部形状との組合せによる番号が刻印してあります。

その種類は表のようになります。

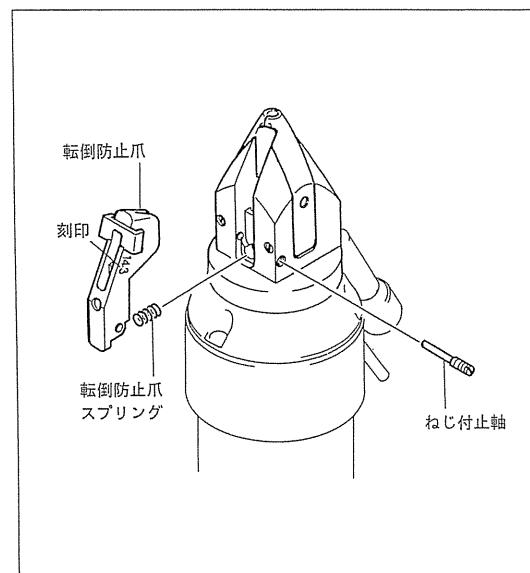
ご注文の際は、刻印番号をお知らせ下さい。

■転倒防止爪の種類

レシプロ機種	1種の刻印 番 号	3種の刻印 番 号	ナベの刻印 番 号	バインドの 刻印番号
			—	—
			—	—
			—	—
RN53-200	—	—	20	20 B
RN53-260	—	—	26	26 B
RN53-300	—	—	30	30 B
RN53-400	—	—	40	40 B
	—	—		—

■転倒防引爪及びスプリングの交換

1. シリンダーASSYを伸ばして下さい。
2. 転倒防止爪を指で押さえて、ねじ付止軸1本をゆるめ引き抜いて下さい。転倒防止爪とスプリング1ヶが一緒になって外れます。
3. 新しい転倒防止爪を用意して、スプリング、転倒防止爪の順にセットしてから、ねじ付止軸で締めて下さい。



■空圧調整及びシリンダー作動時間について

現在ご使用いただいているレシプロは、あらかじめお客様がご使用になるねじに合せて、空圧調整及びシリンダー作動時間を調整して出荷しております。この設定状態でお使い下さい。尚、調整が必要になった時、あるいはご使用のねじを変更する時などは、各説明に従い適切な状態に合わせて下さい。

下記表はねじの標準供給速度を示したものです。ご使用のねじを変更した時に調整をする際の目安としてご利用下さい。

■ねじの標準供給速度の目安表

ねじの種類	ねじ径 mm	ねじの長さ mm	サイクルタイム
小ねじ タッピンねじ	M2.0	5~10	1本／0.9~1.2秒
	M2.6	6~12	1本／1.0~1.5秒
	M3.0	6~12	1本／1.0~1.5秒
	M4.0	8~12	1本／1.0~1.5秒

※サイクルタイムの値にはねじ締め時間は除いてあります。

※サイクルタイムはホース長さ2.5mの時のデーターです。

■シリンダー作動時間の調整

ねじ供給機からねじが、マウスピース先端に送り込まれるまでのスピードに対して、ドライバー作動のタイミングが合わない場合に調整して下さい。また特に初心者の方がお使いになる場合、このタイムを増やして、作業を安全かつ確実に行なえるようにして下さい。

調整方法はハンドドライバー(付属品)の先端で、シリンダー調整ボリュームのスリワリを左右に回します。

各ボリュームの基本操作は

作動時間を短く⇒左回転
作動時間を長く⇒右回転

(調整ボリューム) (内 容)

T D 0——シリンダ下降開始の時間調整

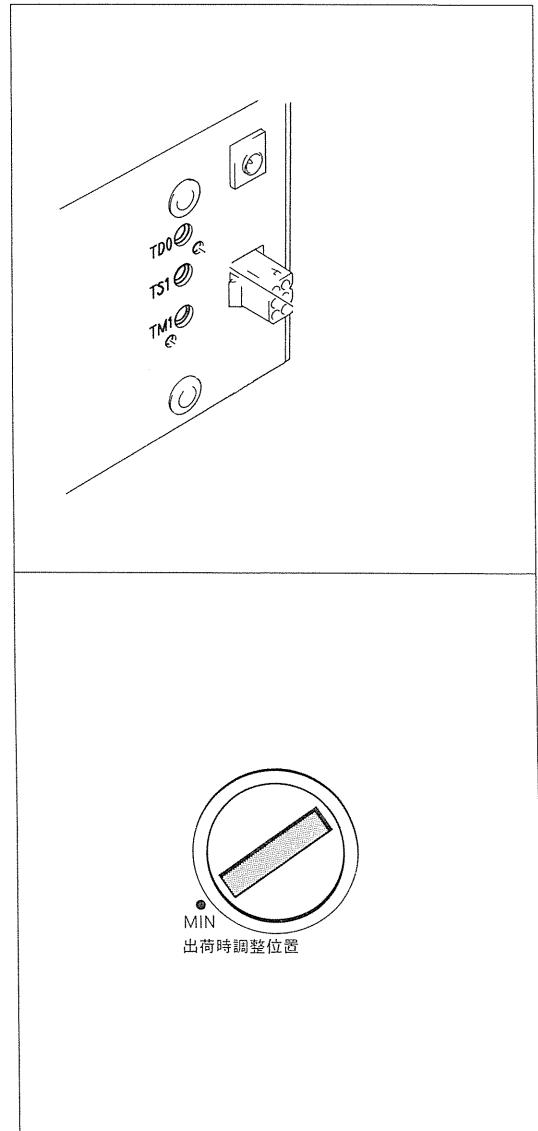
T S 1——シリンダ下降時間とねじ圧送時間の調整

T M 1——ドライバ回転時間の調整

T D 0——シリンダ下降開始の時間

ねじ締めが終りドライバーのスタートスイッチが切られると次のねじの繰出しをするためシリンダーは上下運動を開始します。この上下運動を開始するまでの間合いを調整するボリュームです。

●調整時間 0.1秒～5秒内



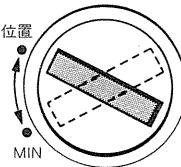
TS 1——シリンダーアクション時間とねじ圧送時間

シリンダーが完全に伸びきって、ねじがキャッチャーまで送られる時間の調整です。大きなねじ、重いねじ、長いねじなどはTS 1を増やして下さい。

※TS 1が十分でない時、ねじは先端部に到達しません。

- 調整時間範囲 0.1秒～1秒

出荷時調整位置

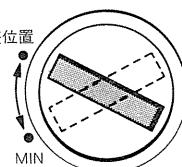


TM 1——ドライバーリターン時間

ねじとビットの嵌合をスムーズにさせるため、シリンダー上昇に合わせてドライバーを回転させる時間調整です。

- 調整時間範囲 0.1秒～1秒

出荷時調整位置



■キャッチャーについて

破損、摩耗、変形した時はキャッチャーを交換して下さい。

キャッチャーの左右の表面には、装着位置を示すA、Bの記号がねじ径と共に刻印されています。

同様にヘッドASSY面にもキャッチャーの装着位置を示すA Bが刻印されています。交換する時はヘッドASSY面の記号にキャッチャーの記号を合せて装着して下さい。キャッチャーは二個(A、B)で1組です。

・キャッチャーの種類

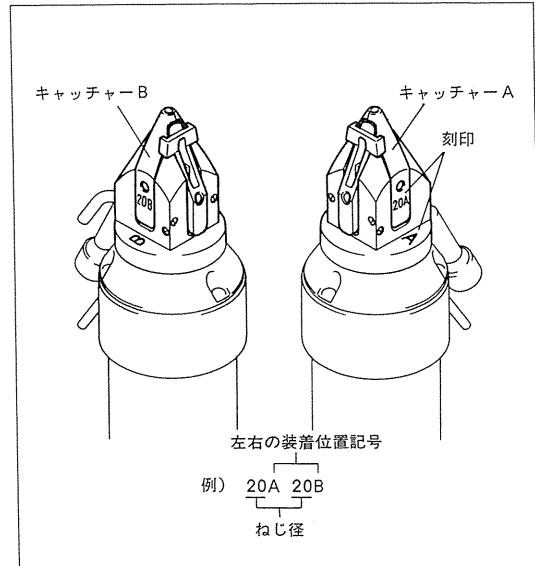
※M2.0用、M2.6用、M3.0用、M4.0用

キャッチャー&スプリングの交換

シリンダーを伸ばして下さい。

左右のキャッチャーを指で押さえて、ねじ付止軸2本をゆるめて、外して下さい。

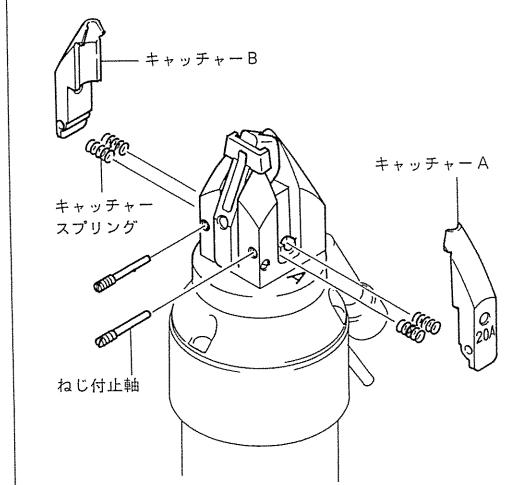
一個のキャッチャーにはスプリング2ヶがセットされています。



次に新しいキャッチャーを装着します。

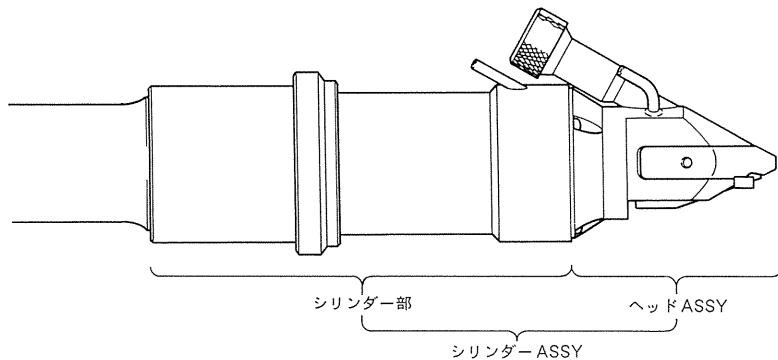
キャッチャーは左右とも同じ形状をしているので、ヘッドASSY面の刻印記号と同じキャッチャーの記号を合せて装着して下さい。

外したねじ付止軸2本を締めて下さい。



■クリーニングについて

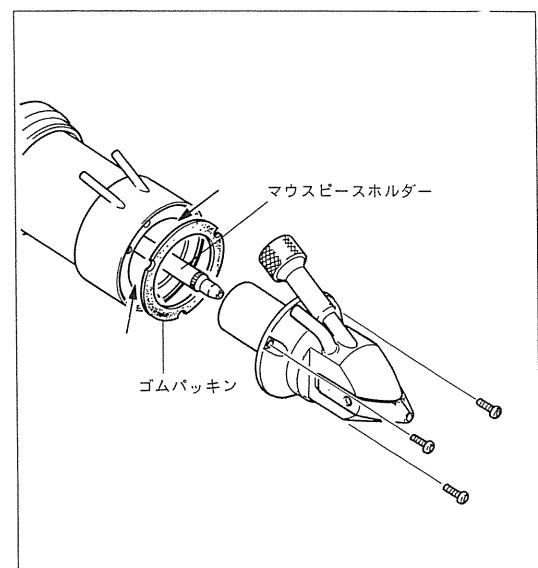
シリンダーASSYはたえず空気を吸い込んでおり、ゴミ、ホコリの付着が吸引力の機能低下をきたす原因となりますので、内部のクリーニングは月1、2回以上は行なって下さい。



■シリンダー部のクリーニング

シリンダーASSYを伸ばしてから、ヘッドASSYを止めている3本のねじをゆるめ、ヘッドASSYを離します。

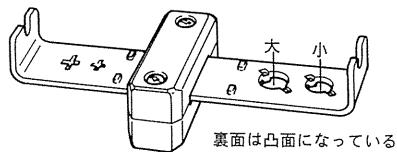
※シリンダー内側には、矢印の方向にスプレー式シリコン滑走剤を吹き込んで下さい。



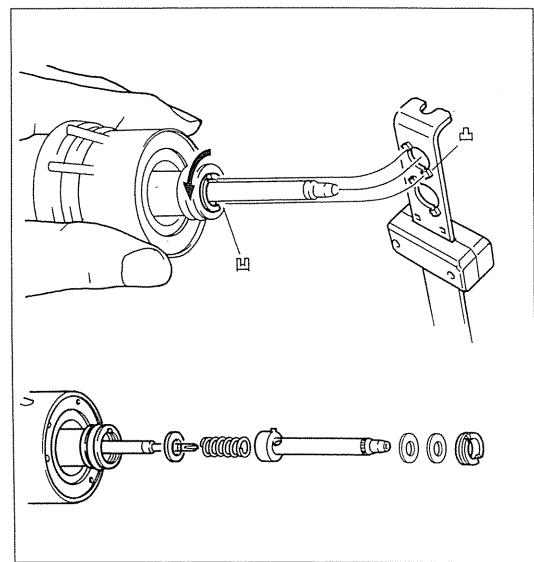
マウスピースホルダーを、ピット抜き差板を使って抜き取ります。

※マウスピースホルダー内側のゴミ、ホコリの付着はエアーで落して下さい。

抜き差板の用途

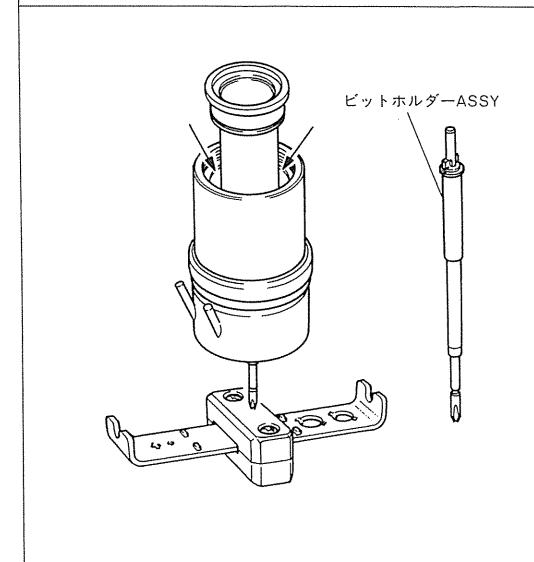
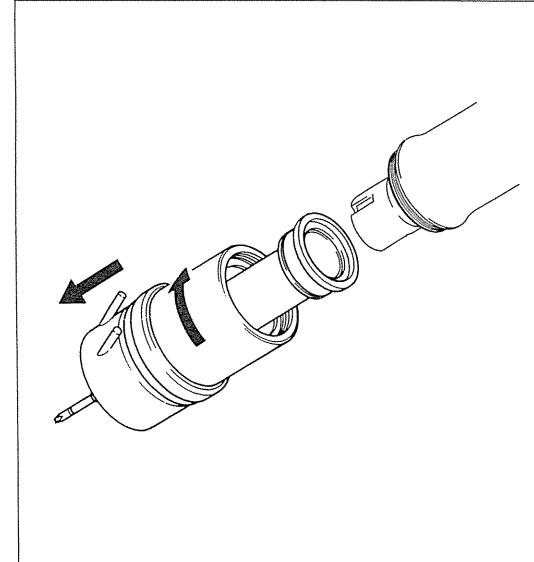


シリンダー部はシリンダーケースを回して、ドライバー本体と離します。



ピットシャフトを抜き取ります。

※ピットホルダーASSYに付着しているゴミ、ホコリはエアーで落し、矢印の方向にはスプレー式シリコン滑走剤を吹き込んで下さい。

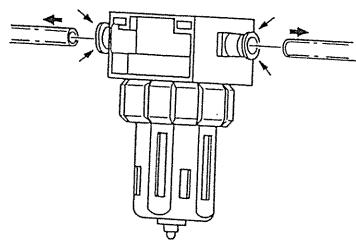


■エアーフィルターの交換

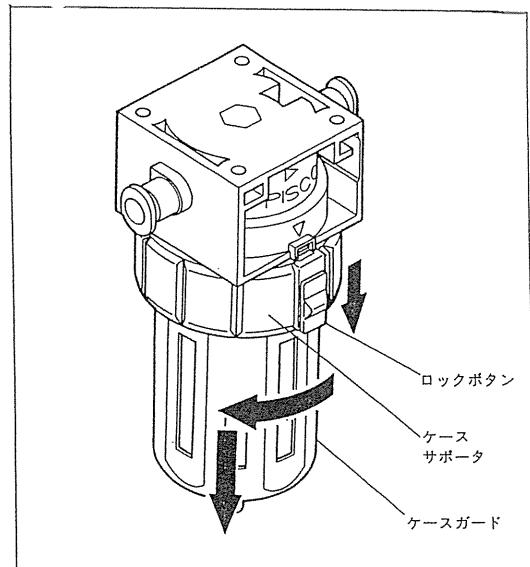
エアーフィルターは消耗品です。汚れたら新しいエアーフィルターと交換して下さい。

エアーフィルターをつないでいる左右の青色ホースを外して下さい。

ホース取り付け口の黒色リングを内側に押しながらホースを引くと外れます。



赤色ロックボタンをOPEN矢印方向に下げる下さい。
ケースソーターを左へ回し、ケースガードと一緒に外して下さい。
透明ケースも引き抜いて下さい。

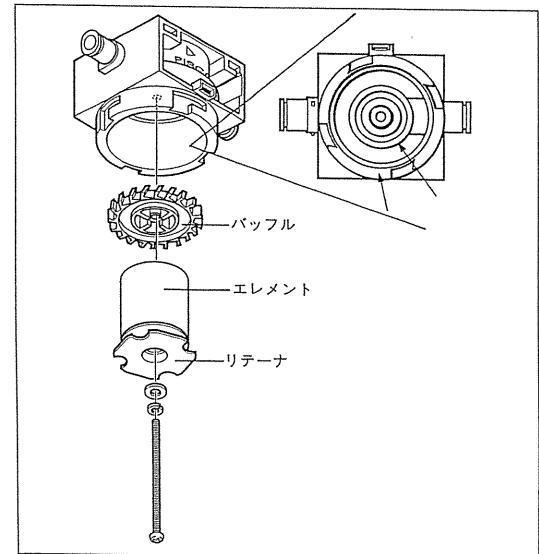


ドライバーでリテーナ底部のねじをゆるめ、外して下さい。

リテーナ、フィルター、バッフルを外します。

新しいエアーフィルターとリテーナをセットし、ねじで固定して下さい。

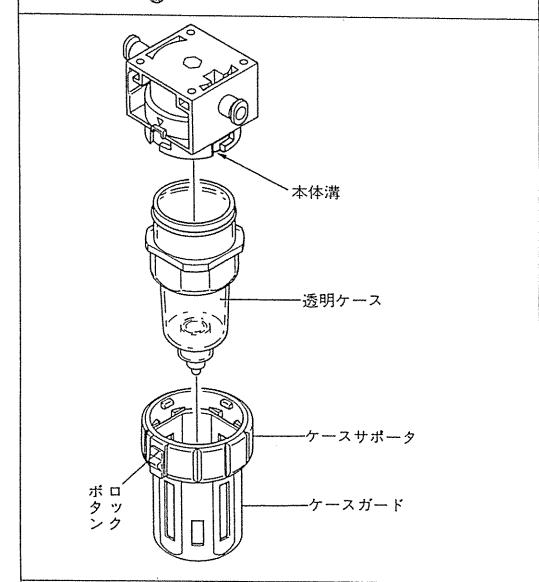
※ねじは確実に締めて下さい。



透明ケース、ケースサポートの順序で取り付けます。

ケースサポートは本体との間に隙間がないように押し上げ、赤色ロックボタンが本体溝の位置にくるように、ケースサポートを回して下さい。

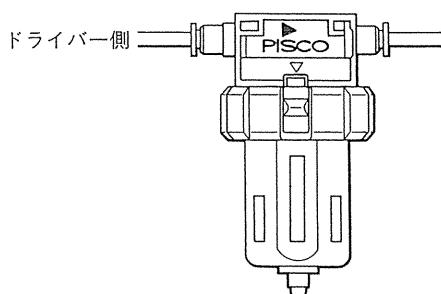
ロックボタンを押し上げるとロックされます。



エアーフィルターを青色ホースに接続して下さい。

エアーフィルターのケース上に表示されている矢印の方向先が必ず電源側にくるよう、取り付けて下さい。

エアーの流れる方向 →



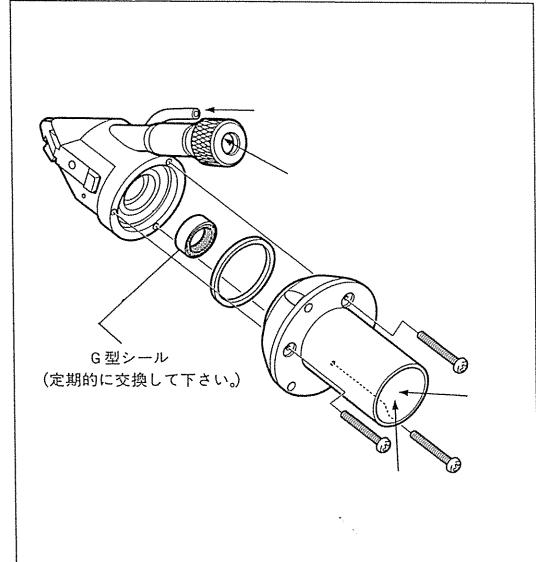
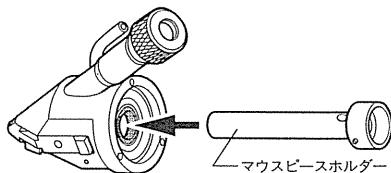
■ヘッドASSYのクリーニング

ヘッドASSYの内側とエアーパイプ内側に付着しているゴミ、ホコリはエアーで矢印の方向に吹いて下さい。

注意：シリコン滑走剤やグリースなどは使用しないで下さい。

定期的にGシールを交換して下さい。

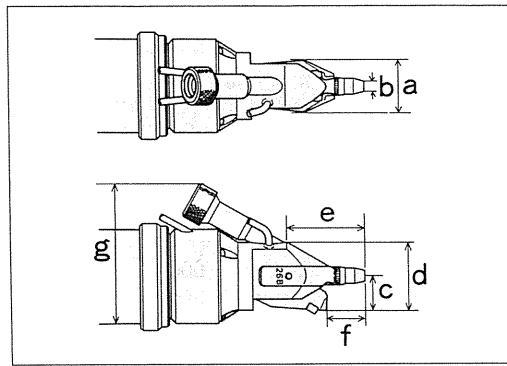
Gシールの交換目安は、マウスピースホルダーがヘッド先端に全く抵抗なく入ってしまう状態ならGシールは摩耗しています。新品と交換をして下さい。



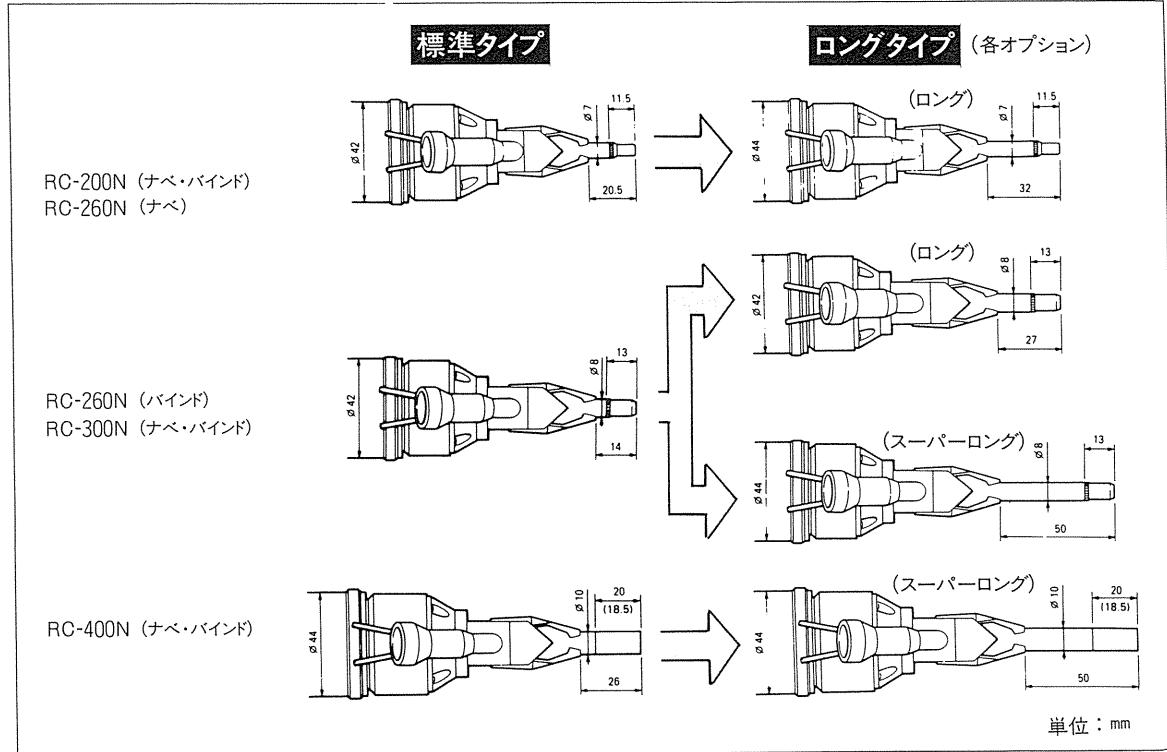
以上、各箇所のクリーニングが済みましたら、組立てをして下さい。

●標準ヘッドASSY寸法

●標準ヘッドASSY外観図



●マウスピース仕様 ※ビットはマウスピース先端より5mm奥にあります。



●専用ビット仕様

ビット形状	レシプロ 機種	締付対象ねじ mm	仕様					
			元径	先端番号	先端径	シャフト形状	全長	
							35	
	RC-200N	M2.0 JIS					40	
	RC-260N	M2.6 JIS						
	RC-300N	M3.0 JIS		#1				
	RC-400N	M4.0 JIS		#2				



■ドライバー部

レシプロ機種				RC-200N	RC-260N	RC-300N	RC-400N	RC-500N
使用ドライバー				RDS-4000	RD-4500	RD-10	RD-20	RD-30
出力トルク範囲 kgf.cm				1~3.5	3~8	2~10	10~20	10~30
無負荷回転速度 r.p.m.				1,700	1,700	1,500	1,600	1,000
寸 法 mm	全 長	275	290	320	340	390		
	グリップ径	32.5			33.5	39		
重 量 g		590	620	745	780	1,000		
ドライバーコード長 m		2*						
適応ビット径		φ3			φ4			

*5m長のドライバーコードもありますのでご利用下さい。(オプション)

■マウスピースの交換

マウスピースはレシプロ専用のものをご使用下さい。変形、破損、摩耗した場合は交換して下さい。

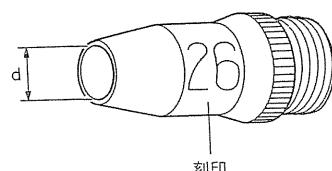
マウスピースの表面には内径寸法が刻印してあります。

ご注文の際は、この刻印番号をお知らせ下さい。

●マウスピースの種類

ねじ径			ナベの刻印番号	バインドの刻印
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
M2.0	31	35	35	43
M2.6	—	—	45	55
M3.0	—	—	55	63
M4.0	—	—	70	83
M5.0	—	—	90	—

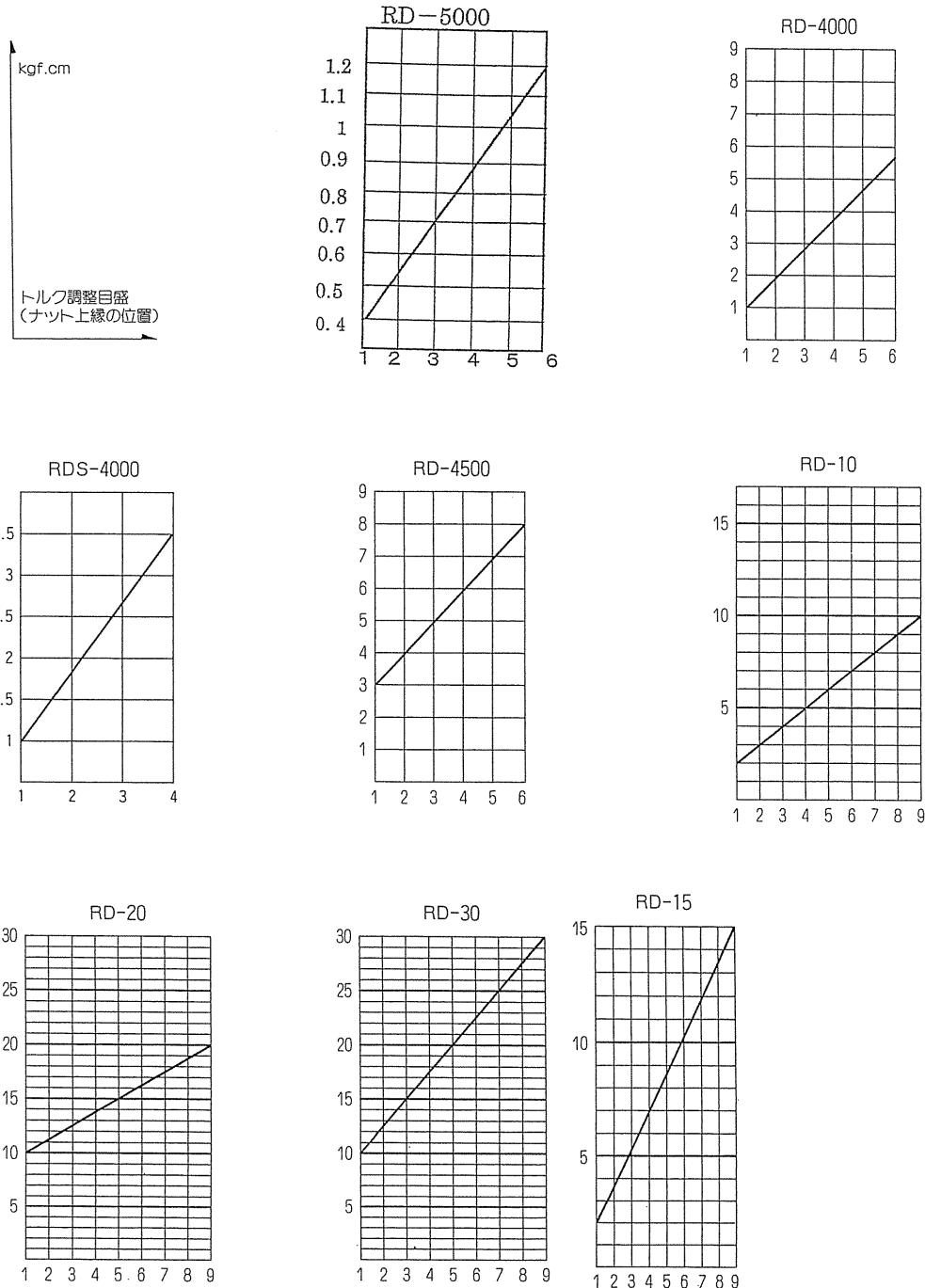
*表の値はマウスピース内径(d寸法)を指します。



出力トルクの目安表

RD-3000・RD-4000・RDS-4000・RD-4500 (30V入力時)

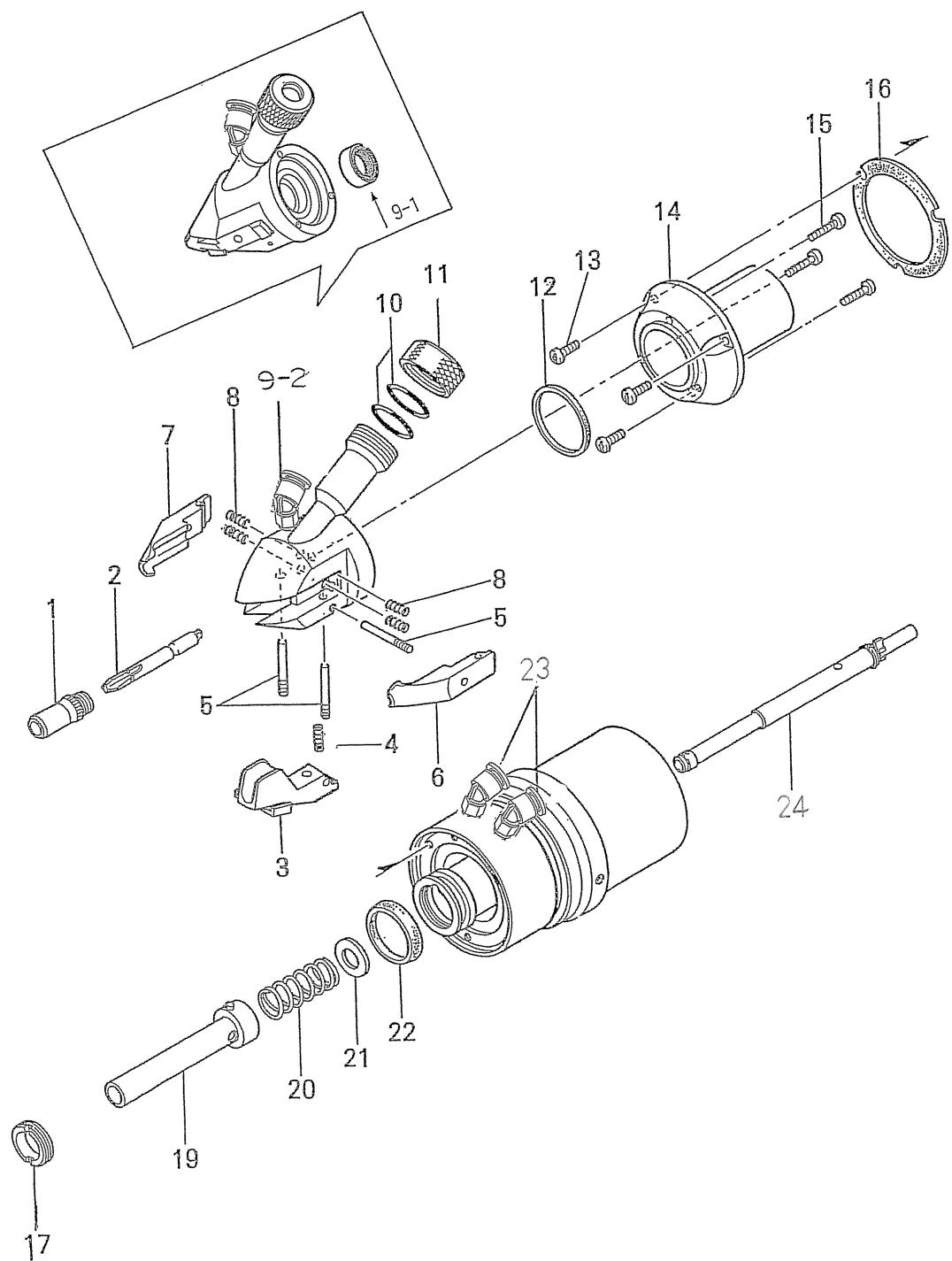
RD-10・RD-20・RD-30 (100V入力時)



パーツリスト

Ref.No	品 名	Code .No.
1	マウスピース	RF-55
2	ビット	RBP4240
	ヘッド AssY 3-11	3-11 RPH-300P
3	転倒防止爪	RP03-300P
4	転倒防止爪 S/P	RP041
5	ネジ付止り軸	RP05-L
6	キヤッチャ A	RP06-30A
7	キヤッチャ B	RP07-30B
8	キヤッチャ S/P	RP08
9-1	G型 シール	RP23-05-08
9-2	継手	RP09-0040
10	O リング	RP10-P09
11	ナット	RP11-09, 3
12	ゴムパッキン	RP12-L
13	ヘッドホルダー止めネジ 2. 6X6	SPP26X06ON
14	ヘッドホルダー	RP14-M
15	ヘッド止めネジ 2, 3X12	SPP2, 3X120
16	ゴム板	RP16-S
17-24	シリンダー サブ AssY 17-24	RPS-30
17	ホルダーナット	RP17-S
19	マウスピースホルダー	RP19-B00
20	マウスピースホルダーS/P	RP20-0. 9
21	R/P受けワッシャー	RP21
22	MY パッキン	RP22-15
23	継手	RP09-0040S
24	ビットホルダー ASSY	RP26-Z-BOO

EXPLODED VIEW DRAWING



パーツリスト

RET.NO.	品 目	RET. NO.	品 目
1	マウスピース	13	ヘッドホルダー止ネジ 2, 6X6
2	ビット	14	ヘッドホルダー
3	転倒防止爪	15	ヘッド止ネジ 2X12／2, 3X12
4	転倒防止爪S/P	16	ゴム板
5	ネジ付止軸	17	ホルダーナット
6	キャッチャーA	19	マウスピースホルダー
7	キャッチャーB	20	マウスピースホルダーアス/ピ
8	キャッチャーS/P	21	S/P 浮ワッシャー
9	ヘッド	22	MY パッキン
9-1	G型シール	23	継手(RP09-0040S)
9-2	継手(RP09-0040)	24	ビットホルダーアス
10	O レンジ		
11	ナット		
12	ゴムパッキン		
アッセンブリー部品			
1~24		シリンダーASSY	
3~11		ヘッドASSY	
17~24		シリンダーサブASSY	

9-1	G型シール品番 RP23-05-7	M2PH～M2, 6PH
	RP23-05-8	M2, 6BH～M3BH
	RP23-05-10	M4PH～M4BH

ホース&ドライバーコードASSY
ホース径はねじの種類で異います
ので、ご確認を願います